

令和7年度 県政世論調査結果の概要

参考 2

○各調査項目の概要

※ 調査結果のうち、主なものを抜粋して掲載している。

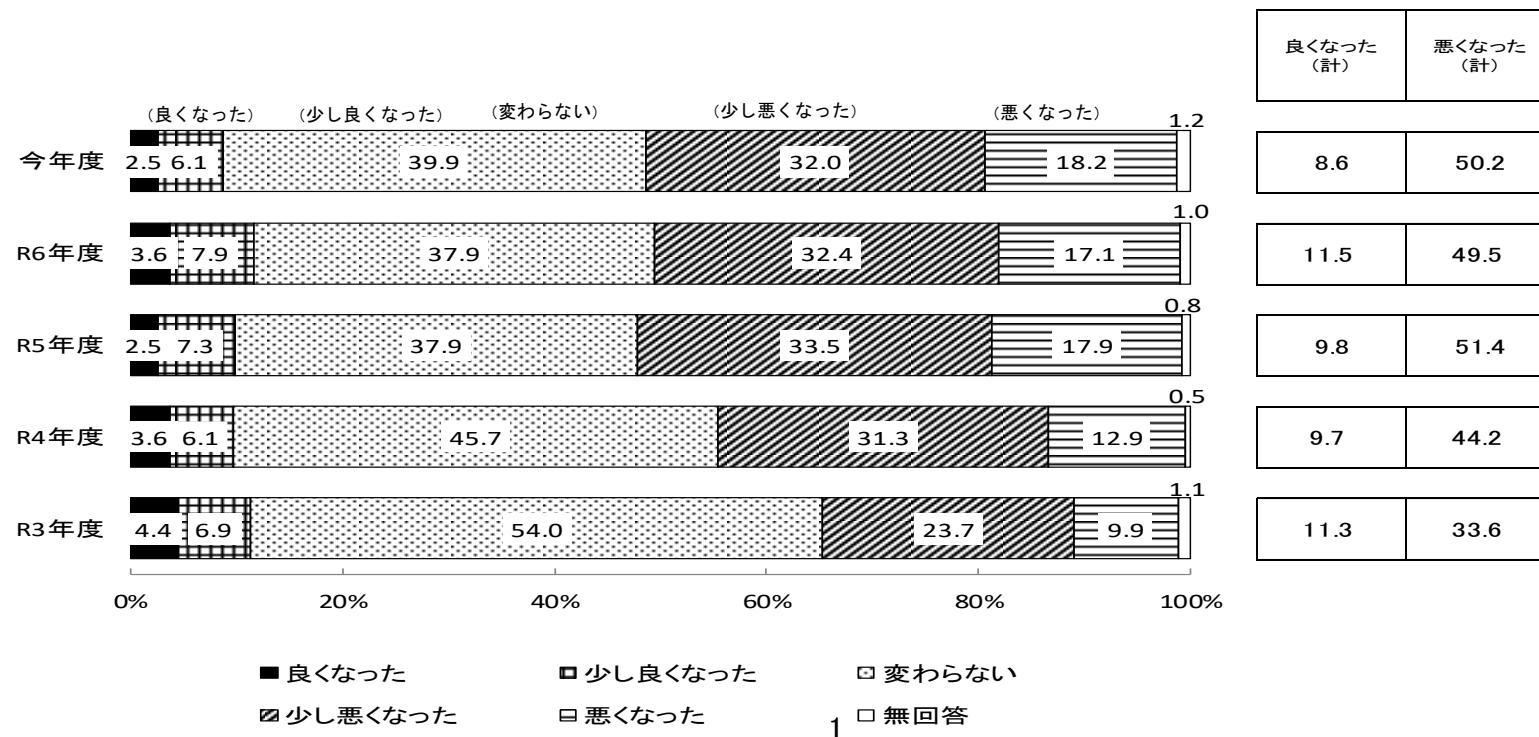
※ 数値は小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計しても100.0%にならない場合がある。

1 県民の生活実感

○2～3年前に比べ暮らし向きの変化

2～3年前に比べ暮らし向きは、「良くなった」と「少し良くなった」を合わせた『良くなった（計）』が8.6%、「悪くなった」と「少し悪くなった」を合わせた『悪くなった（計）』が50.2%となっている。

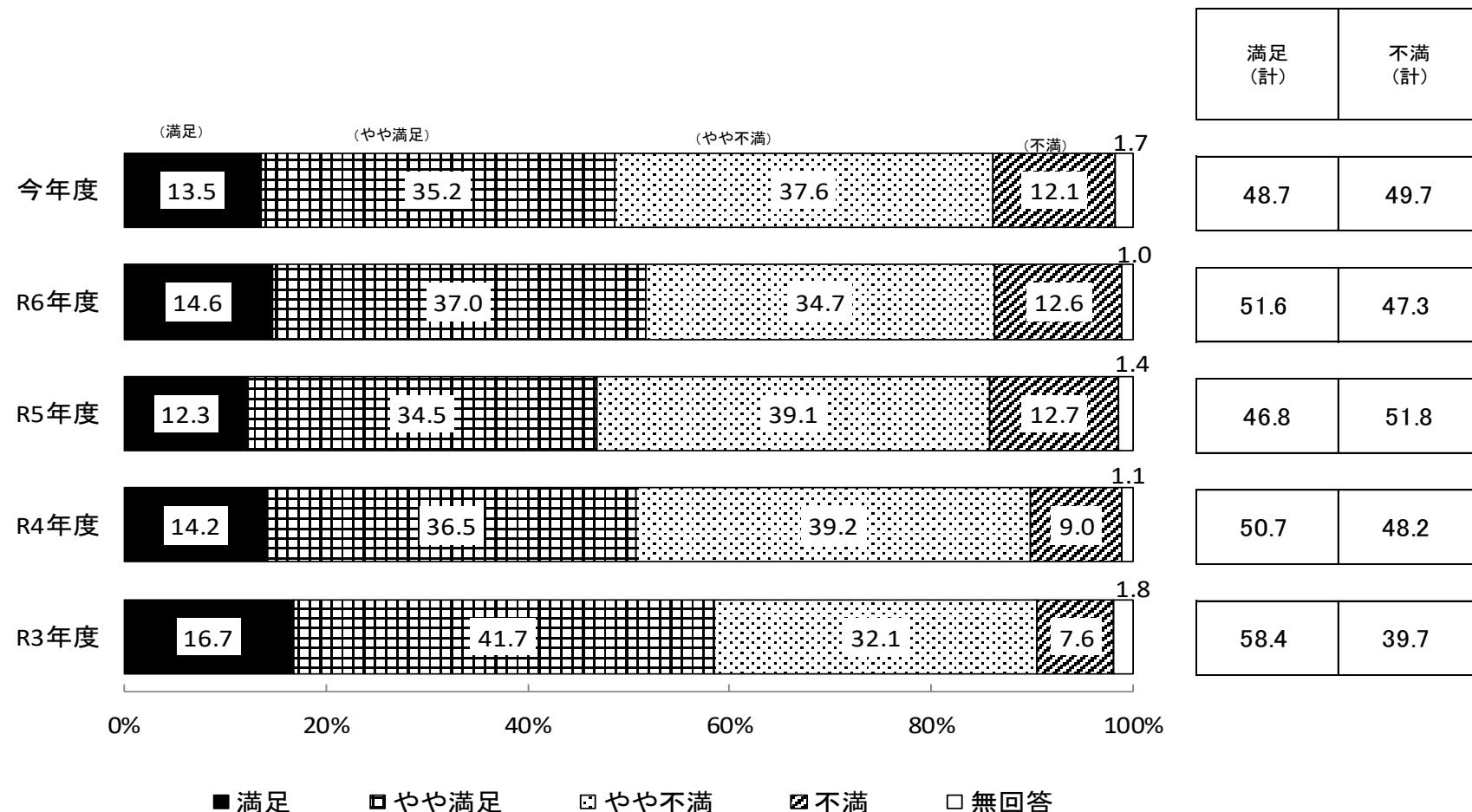
直近5年間の回答状況をみると、『良くなった（計）』は1割前後で推移し、『悪くなった（計）』は3割強から5割強の間で推移している。



○現在のくらし向きの満足度

現在のくらし向きに関する満足度について、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足（計）』が48.7%、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満（計）』が49.7%となっている。

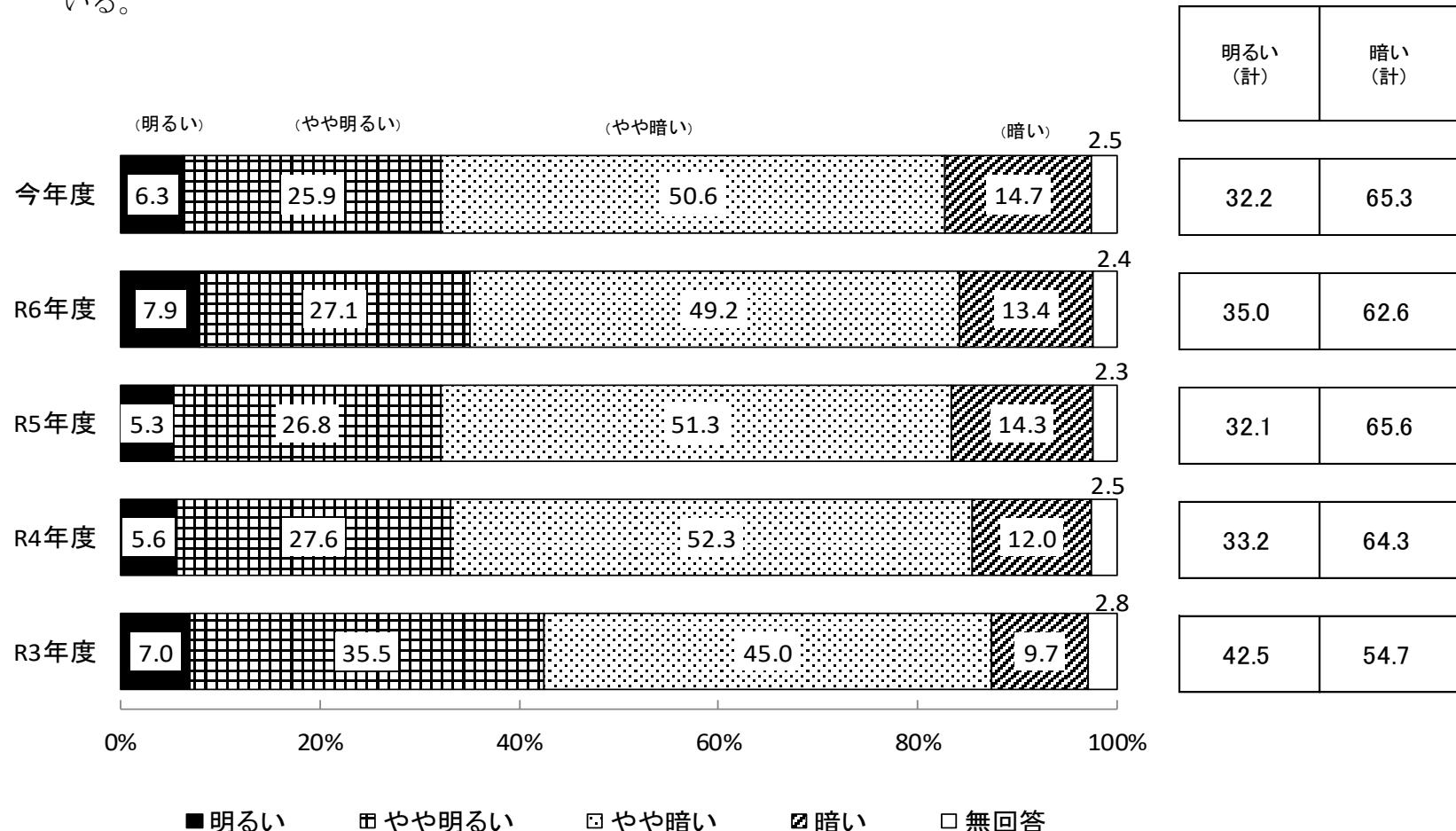
直近5年間の回答状況をみると、『満足（計）』は4割半から6割弱、『不満（計）』は4割弱から5割強の間で推移している。



○今後の生活の見通し

今後の生活の見通しについて、「明るい」と「やや明るい」を合わせた『明るい（計）』が32.2%、「暗い」と「やや暗い」を合わせた『暗い（計）』が65.3%となっている。

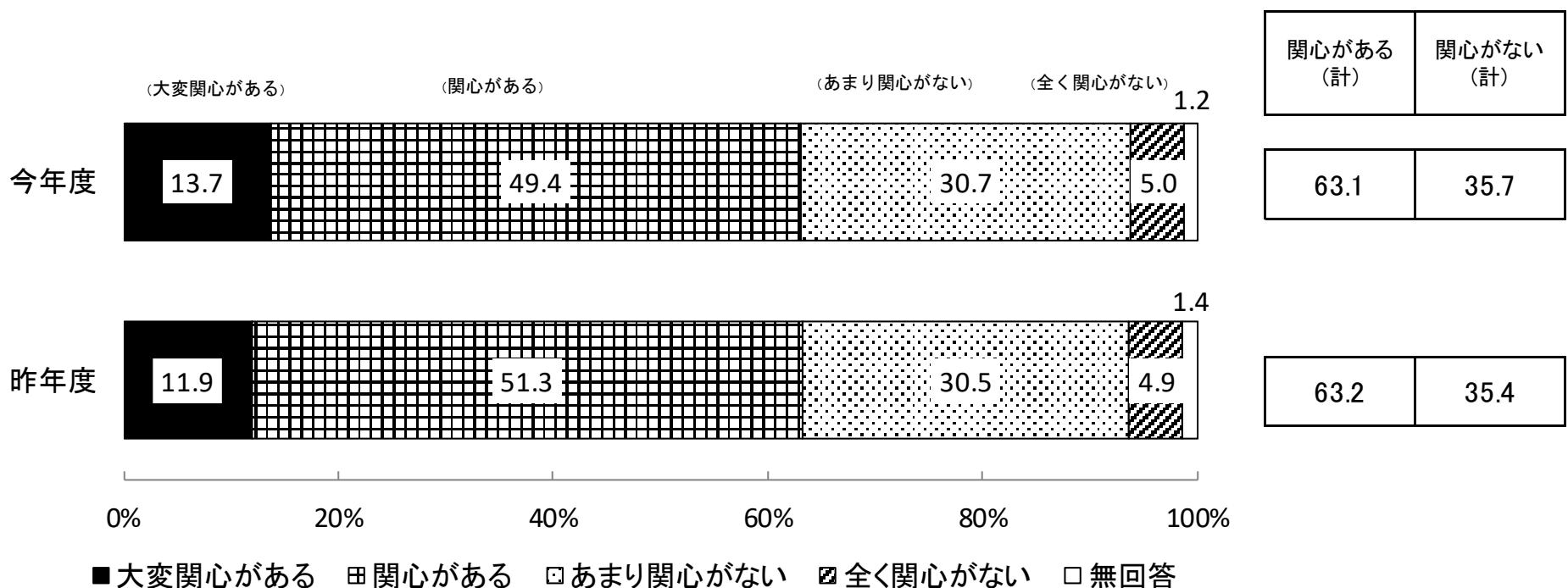
直近5年間の回答状況をみると、『明るい（計）』は3割強から4割強、『暗い（計）』は5割半ばから6割半ばの間で推移している。



2 政治や経済への関心

○県の政治や経済への関心

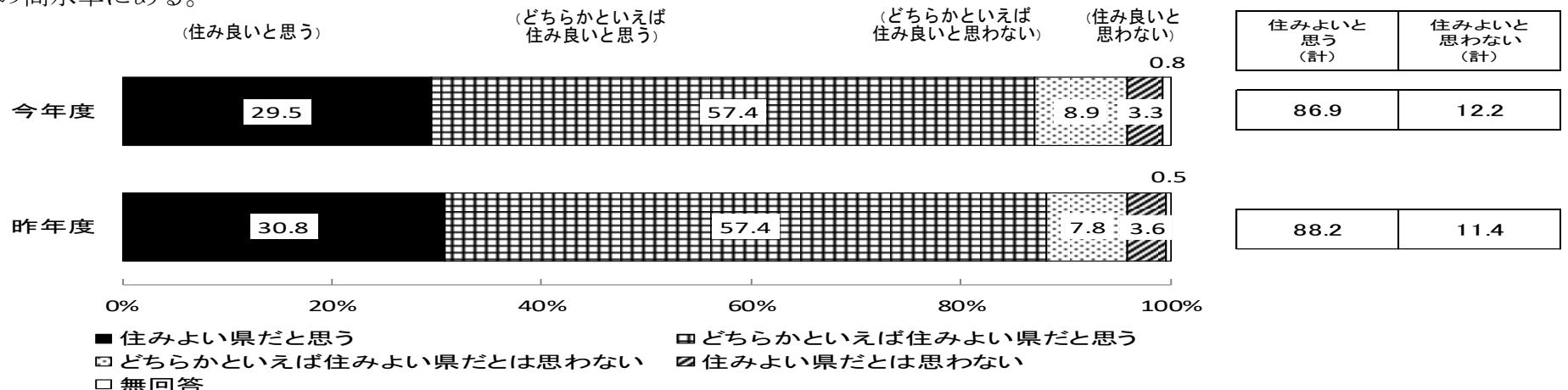
県の政治・経済に対する関心度について、「大変関心がある」と「関心がある」を合わせた『関心がある（計）』が 63.1%、「全く関心がない」と「あまり関心がない」を合わせた『関心がない（計）』が 35.7%と、関心を持つ人の割合が高くなっている。昨年度と比較して差異はみられない。



3 県の取組に対する実感

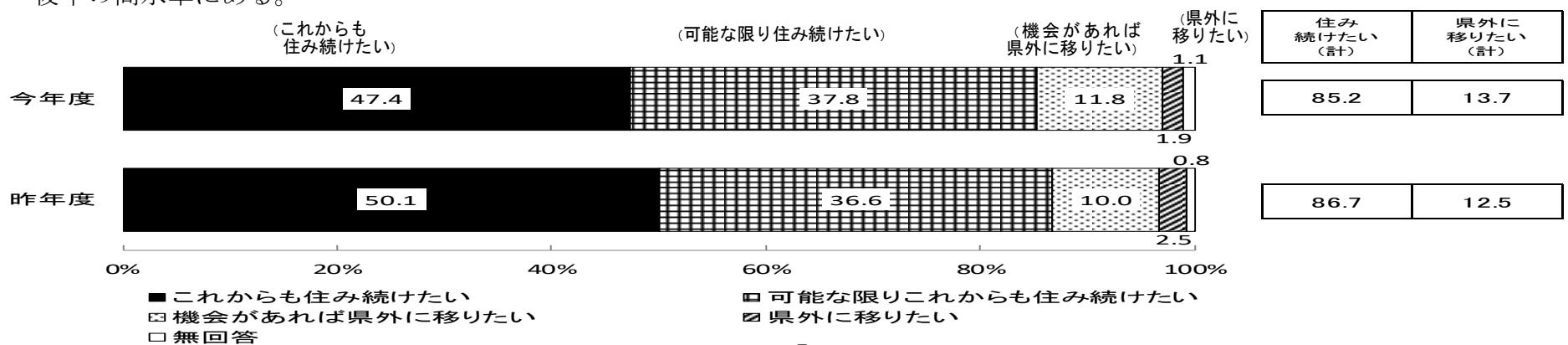
○山口県の住みよさ

山口県の住みよさについて、「住みよい県だと思う」と「どちらかといえば住みよい県だと思う」を合わせた『住みよいと思う(計)』が86.9%となっており、昨年度と比較すると、『住みよいと思う(計)』は1.3ポイント低下したが、引き続き、8割後半の高水準にある。



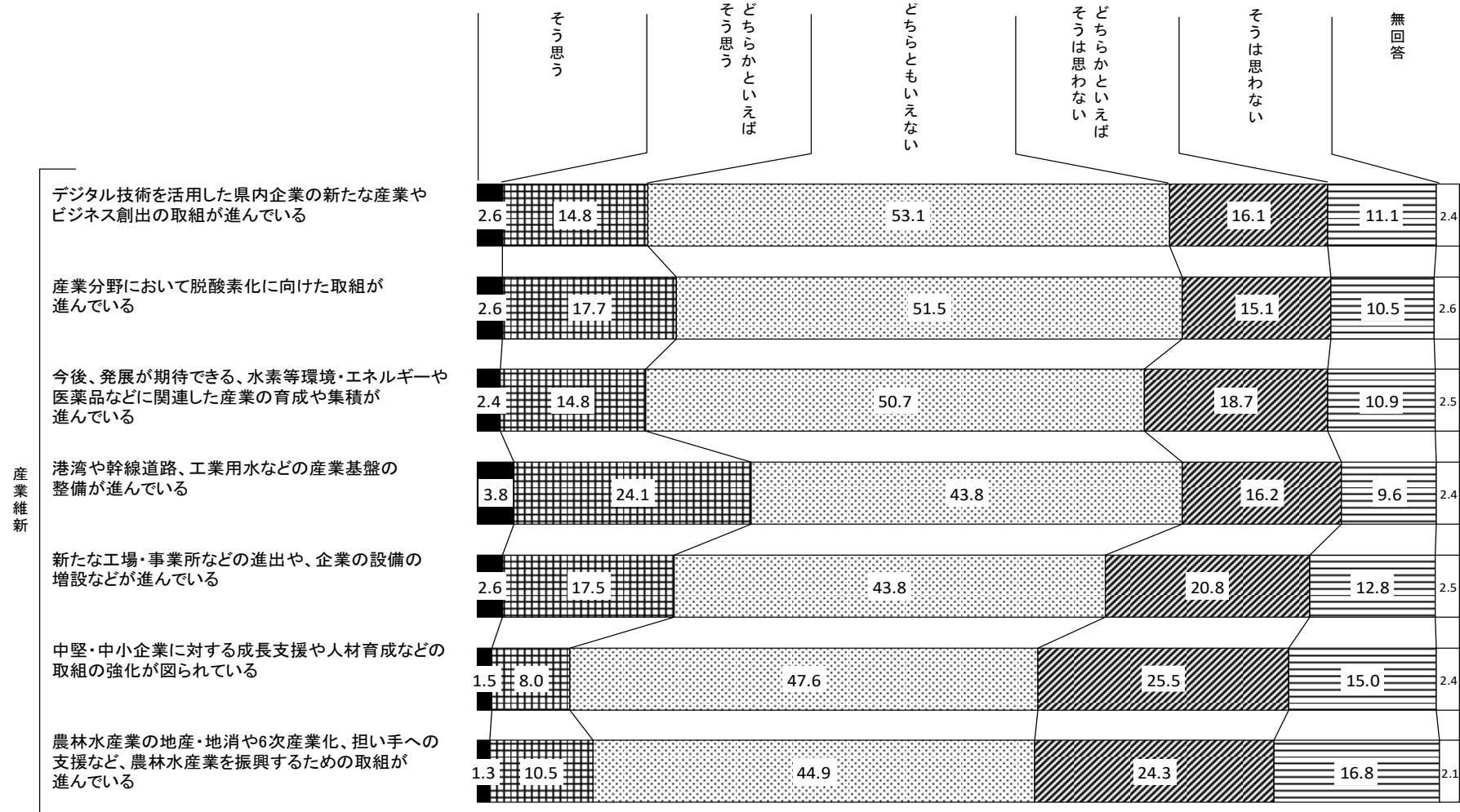
○今後の山口県への居住意向

今後の山口県での居住意向について、「これからも住み続けたい」と「可能な限りこれからも住み続けたい」を合わせた『住み続けたい(計)』が85.2%となっており、昨年度と比較すると、『住み続けたい(計)』は1.5ポイント低下したが、引き続き、8割後半の高水準にある。

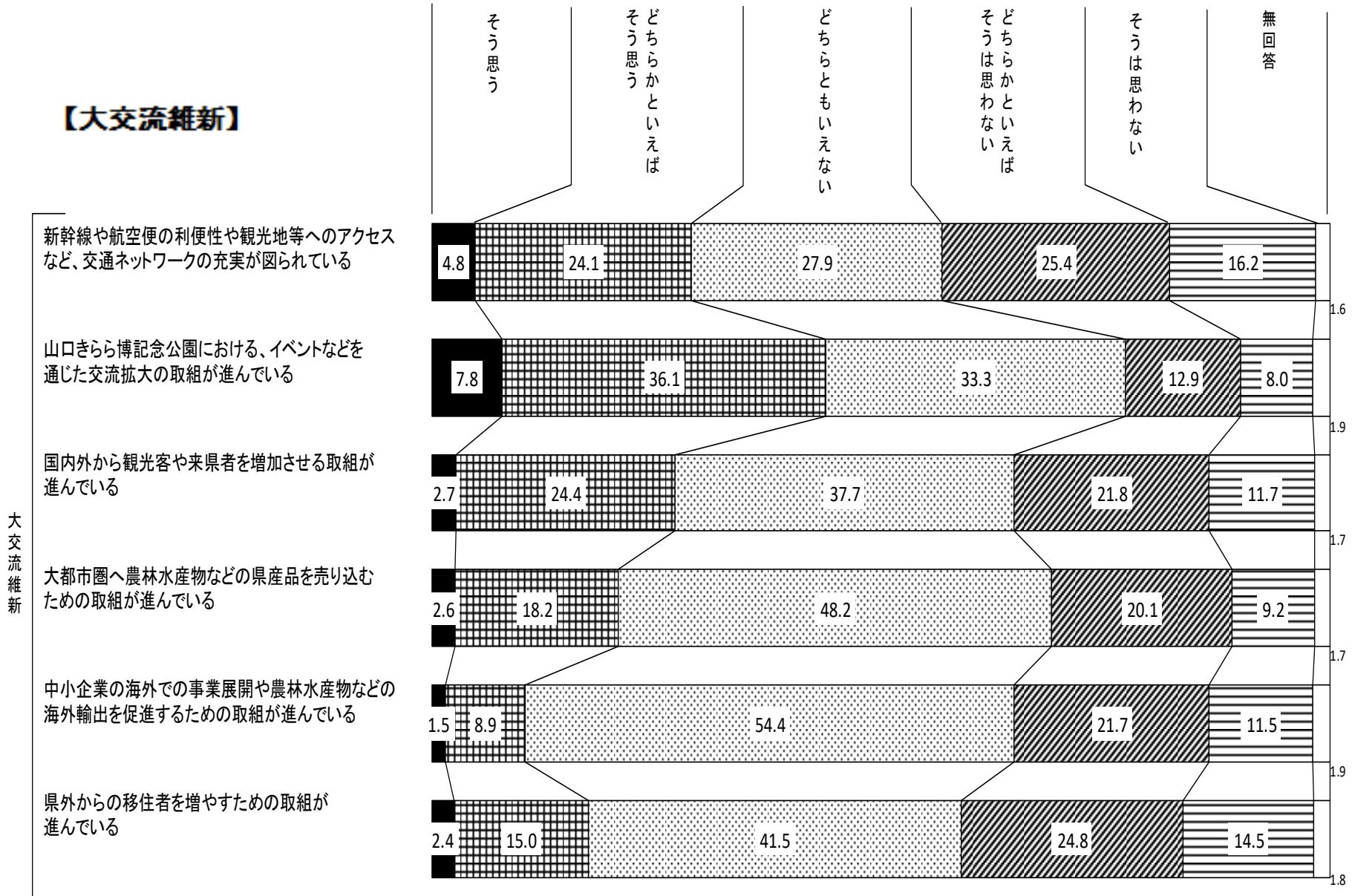


【県の取組に対する実感】「やまぐち未来維新プラン」の20プロジェクト等について

【産業維新】

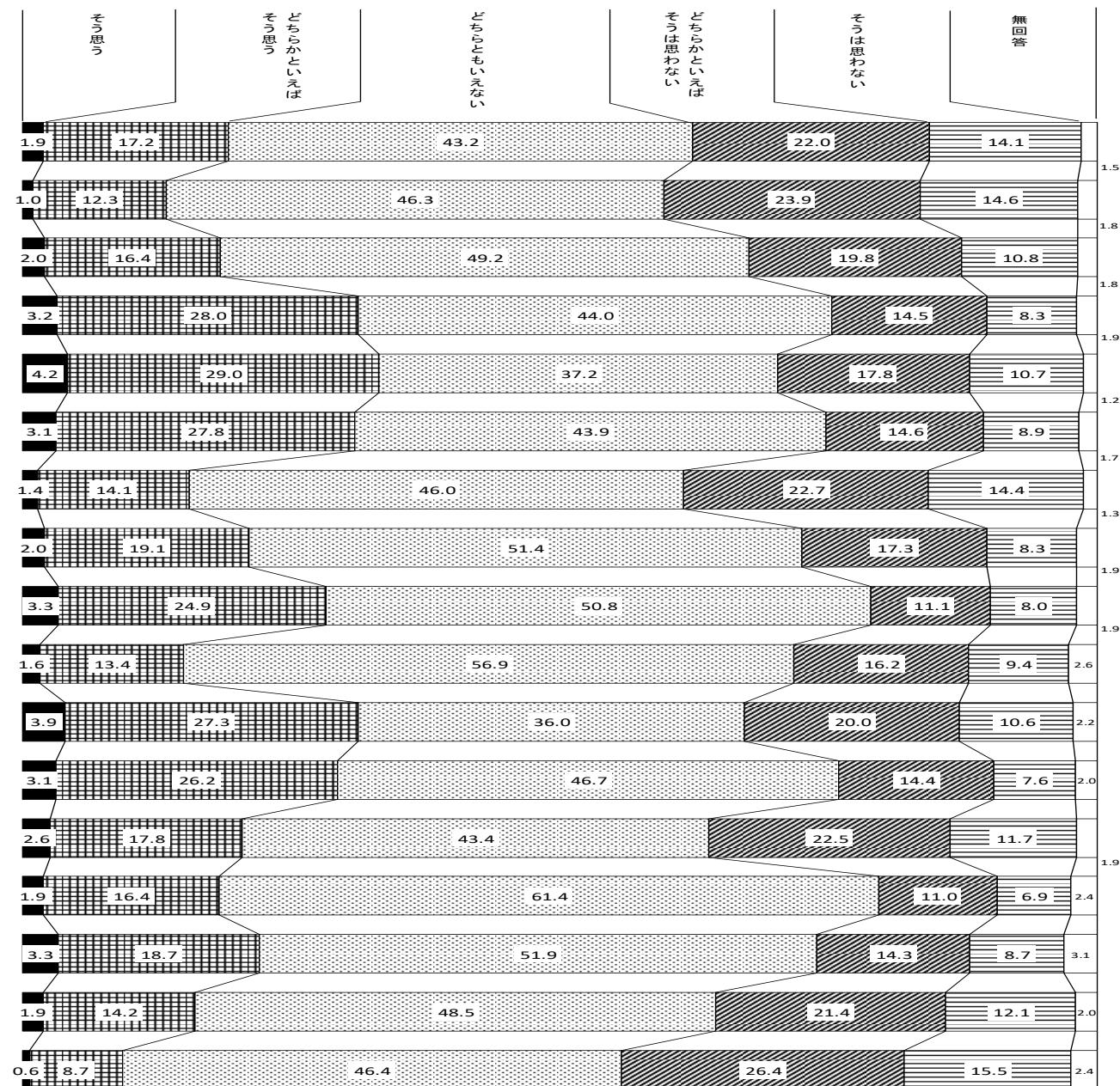


【大交流維新】



【生活維新】

- 結婚、妊娠・出産、子育ての希望を叶えるための支援が進んでいる
- ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組など、誰もが働きやすい職場環境づくりが進んでいる
- 住宅への太陽光発電の導入や省エネ性能に優れた住宅の普及など、暮らしに密着した脱炭素化の取組が進んでいる
- 廃棄物のリサイクルの推進など、環境にやさしい地域づくりが進んでいる
- 暮らしを支える生活道路の整備や都市公園の利活用など、快適な生活環境づくりの取組が進んでいる
- 行政手続のオンライン化など、デジタルによって社会や暮らしを便利にするための取組が進んでいる
- 山口県の将来を担う子ども・若者を育成する取組や教育環境の充実が進んでいる
- ボランティア活動やスポーツ・文化活動などで、誰もが活躍できる社会づくりが進んでいる
- 一人ひとりの人権が尊重されている
- 男女共同参画・ジェンダー平等の実現に向けた取組が進んでいる
- 医療や介護のサービスを受けられる体制が充実している
- 生活習慣病の予防など、健康づくりに向けた対策が進んでいる
- 大雨、台風、地震などに対する防災・減災対策やインフラの老朽化対策が進んでいる
- 食品の検査や消費生活センターにおける相談対応など、食や消費生活の安心・安全の確保に向けた対策が進んでいる
- 犯罪や交通事故の防止に向けた対策が進んでいる
- 快適で暮らしやすい住環境づくりが進んでいる
- 中山間地域の暮らしを守り、地域づくりを支援する取組が進んでいる



【行財政基盤の強化】

